**NEWS RELEASE**

セブン&アイHLDGS.
株式会社 イトーヨーカ堂

2013 年 5 月 17 日

# 当社初、新潟で「環境循環型農業」を開始
# 『セブンファーム新潟』を設立

## ～今期、全国10ヶ所に農業拡大、耕作面積60haへ～

セブン&アイ・ホールディングス傘下の総合スーパー、株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長 兼 最高執行責任者（COO）: 亀井 淳、以下「当社」）は、このたび、農業事業会社『セブンファーム新潟』を新潟県新潟市に設立し、当社として、北陸地方ならびに新潟県初の「環境循環型農業」を開始いたします。

『セブンファーム新潟』は、当社の農業事業における中核会社「株式会社セブンファーム」（イトーヨーカ堂 100%子会社）と、法人拠点となる新潟県新潟市の農業生産者による共同出資で設立される農業事業会社です。上記生産者の所有する農場のうち、約 3 ヘクタールの耕作地でなすやブロッコリー、枝豆等の野菜を中心に栽培し、収穫した農産物のほぼ全量を新潟県内のイトーヨーカドー店舗に出荷して販売いたします。

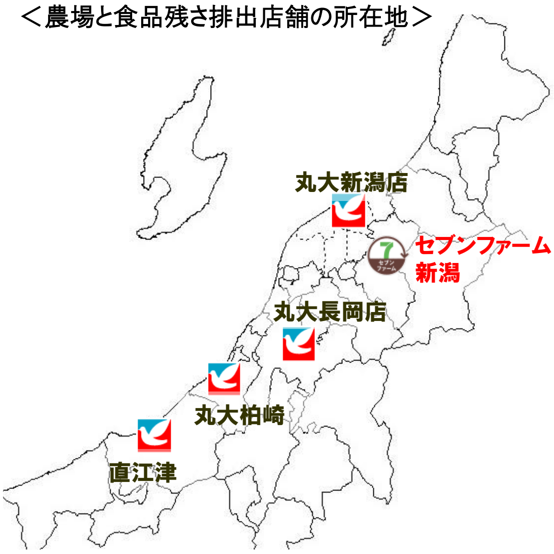
当社が 2008 年から取り組んでいる「環境循環型農業」とは、イトーヨーカドー店舗から排出される食品残さ（生ごみ）を堆肥の資源として再利用し、当社が運営する専用農場に導入、そこで栽培～収穫された農産物を食品残さが排出された店舗等で販売するものです。
今般の新潟県新潟市での法人設立は全国 8 ヶ所目の展開となり、今年度中に全国 10 ヶ所の拠点設立を予定、専用農場の合計面積は約 60 ヘクタール規模まで拡大いたします。

1. セブンファーム新潟の事業スキームについて

## 2.『セブンファーム新潟』法人概要

● 商　　号：株式会社セブンファーム新潟
● 所 在 地：新潟県新潟市
● 設 立 日：2013 年 5 月 17 日（金）
● 代 表 者：代表取締役 恵本 芳尚（えもと よしのぶ）
　　　　　（セブンファーム取締役）
● 出資構成：セブンファーム　95%
　　　　　　地元生産者　　5%
● 各社役割：イトーヨーカ堂　農産物の販売
　　　　　地元生産者　　　農産物の生産

＜農場と食品残さ排出店舗の所在地＞




## 3.『セブンファーム新潟』の生産活動について

● 農場名称：セブンファーム新潟
● 所 在 地：新潟県新潟市
● 農場面積：3 ヘクタール
● 栽培品目：なす、ブロッコリー、枝豆、ホウレン草、小松菜、等の露地野菜 約 10 品目
● 収 穫 量：約 50 トン（＊初年度 1 年間）
● 堆 肥 化：丸大新潟店から食品残さ（食品ごみ）を回収し、新潟市内のリサイクル施設にて堆肥化
● 販売店舗：新潟県内の全 4 店舗を中心に販売予定
● ｽｹｼﾞｭｰﾙ：本年 6 月下旬より、水菜、ほうれん草、小松菜の生産開始

当社は 2008 年 8 月、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイ・ホールディングス初となる農業生産法人「セブンファーム富里」（千葉県富里市）を設立し、「環境循環型農業」を小売業で初めて開始いたしました。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、設立 2 年目以降に事業の黒字化を達成しております。

また、全国各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等を一元管理する中核会社「株式会社セブンファーム」を 2010 年 5 月に立ち上げ、全国 10 ヶ所への事業拡大を決定いたしました。中核会社の傘下法人として、現在までに富里の他、「セブンファームつくば」（茨城県筑西市、2010 年 9 月設立、＊事業会社）、「同 三浦」（神奈川県横須賀市、2010 年 10 月設立、＊事業会社）、「同 深谷」（埼玉県深谷市、2010 年 11 月設立、＊農業生産法人）、「同 北海道」（北海道東上川郡、2012 年 1 月設立、＊事業会社）、「同 東海」（愛知県碧南市、2012 年 5 月設立、事業会社）、「同 東京」（東京都立川市、2012 年 10 月設立、事業会社）の 7 ヶ所で「環境循環型農業」を展開しております。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加、農地法の改正等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。セブンファームは“日本の農業のお手伝い”という基本理念のもと、地域ごとに最適な法人形態（農業生産法人もしくは事業会社）を設立し、持続可能な地域農業への貢献を図ります。

以　上